



第305号

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

静臨技ニュース

発行所 / (一社) 静臨技涉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川1-1-15 ヴィラセーユー稲川207
TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113

発行者 / 三宅 和秀 編集責任者 / 鈴木 雅人 発行日 / 平成27年8月1日 印刷所 / 小林クリエイト(株)

8月号の内容



- ◆ 平成27年度定時総会 議事録 …… 1～6
- ◆ 平成27年8月・9月・10月行事予定 …… 6
- ◆ 検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会を受講して …… 7
- ◆ 会員投稿 …… 8
- ◆ 研修会終了報告 …… 9～11
- ◆ 研修会・講習会案内 …… 12～13
- ◆ 会員の異動 …… 14～15

平成27年度定時総会 議事録より

定款第14条により、定時総会（平成26年度決算総会）開催

- 1、開催日時 平成27年6月6日（土） 午後3時00分～午後4時00分
- 2、開催場所 静岡県男女共同参画センターあざれあ
静岡市駿河区馬淵1丁目17-1
- 3、会員数 1,537名
- 4、出席会員数 1,151名
- 5、総会次第
開会の辞
会長挨拶
議長選出
資格審査委員及び議事運営委員の選出
書記任命
議事録署名人の選出



総会議案

第1号議案	平成26年度事業経過報告
第2号議案	平成26年度決算報告
第3号議案	平成26年度業務および会計 監査報告
第4号議案	平成26年27年度役員候補者 選考委員補充案
その他	書記解任 議長解任 閉会の辞

※第2号議案において回答を求めたうえでの承認意見についての回答を掲載します。

- ・高木義弘 220693<県立こころの医療センター>
理由：「回答を求めたうえで賛成です。寄付金収入が150万円計上されており決算では0円です。どうして150万円計上し、どうして0円になったか説明して下さい。」

豊田会計部長

寄付金を計上した理由はメディメッセージが開催されるかどうか不安があり、検査展を静臨技単独で開催する場合を想定したためです。実際にはメディメッセージ内での開催でしたので経費も押さえられ、寄付金を募る必要が無くなりましたので決算額が0円になりました。

※その他の意見として書面表決書に記載がありました3件の意見の回答を掲載します。

① 久保田 操 220536

<JA静岡厚生連 清水厚生病院>
「いつも技師会活動にご尽力いただき、ありがとうございます。今後も宜しくお願いします。」

② 高木 義弘 220693

<県立こころの医療センター>
『検査説明・検査相談』に日臨技共々、大変力を入れてるようですが、何点か教えてください。
どちらかと言うと一方的な検査説明に対して、検査相談は多岐に渡り、薬理・栄養・病態・疾患等々も関係し医療全般に関わる知識が必要ではないかと考えます。JAMT HP等も見たのですがわからなかったので教えてください。」

1. カリキュラムはどうなっていますか？
HP等があれば教えてください。
2. スキルチェックはどうなっていますか？
チェック表等があると思いますので教えてください。
3. 事例集はありますか？
どのような相談内容が多いのか、その回答は？
立ち上げに際し、色々調査されて資料があると思います。開示はされていないのでしょうか？
4. 実例集はどうなっていますか？
この事業が始まって数年経っています。他施設の実例を参考に出来るようなものはないのでしょうか？
5. 参考書を教えてください。
キックオフにあたっての注意や準備しておいた方がよい資料等を記したテキストもしくは資料はどこで手に入るのでしょうか？日臨技のHPも見たのですが、見当たらないので教えてください。
以上よろしく申し上げます。

③ 鈴木 佳子 220727

<JA静岡厚生連 遠州病院>
「以前にくらべ、ずいぶん活発な活動になってきたと思います。これも役員の方々の御努力のおかげです。お疲れ様です。」

伊藤事務局長

『①③回答』・・・ご意見ありがとうございます、ふたつの意見は、励まし・ねぎらいの意見として理事一同感謝いたします。今後も会長を中心に理事一同頑張る所存です。

山口組織調査部長

『②回答』・・・『検査説明・相談のできる検査技師』講習会は、会員の1割の受講を目指して昨年より全国的に開催され、当県も全3回の計画のうち1回目を開催しました。
講習は2日間の日程で実施され、初年度の現在、基本カリキュラムは基本的に全国統一で実施されていますが、県単位で教本を作成しますので執筆者により多少表現は異なっている場合もあるかと思えます。また、履修度合いとか実施状況を考慮し講習の内容、企画も更新されていくと聞いています。当県カリキュラムの内容は参加者に配布していません講習会で使用した教本をご覧ください。
また、スキルチェックは、講習会のなかで模擬演

習評価表を用い振り返りを行なっていますが、こちら併せて参加者のものをご確認いただきたいと思ひます。

『検査説明・相談のできる検査技師』の講習会は3年間継続して実施されます。その過程で、現在、日臨技のWG主導で全国の講習会参加者に事後アンケートを行なっていますので、そこから事例報告、各施設の取組み状況が今後集計され報告されていきますので、その際に改めて報告できると考えてい

ます。

現時点で参考されるものとしては、日臨技のホームページ内の資料・ガイドラインにある、「チーム医療推進に関する答申書」が事例や、実例に関して参考になると思ひます。その他には、日臨技より新たに出版された、「臨床検査技師のためのチーム医療技術教本」をご覧くださいますと、実例的なものを学べると思ひます。

稲村常務理事より、次期総会は静岡市において県学会と同時開催し、東部支部担当にて平成28年6月11日（土）開催予定と報告された。



平成27年8月・9月・10月の行事予定

8月

- 3日（月）平成27年度第1回役員候補者選考委員会 : 技師会事務所
14日（金）静臨技常務理事会・理事会 : 技師会事務所

9月

- 5日（土）～6日（日） : 富山大学附属病院
中部圏支部輸血研修会
12日（土）静岡県寄生虫症研究会 20回研究総会 : アクトシティ浜松研修交流センター
25日（金）日臨技中部圏支部幹事会 : コンベンションアーツセンター
グランシップ
26日（土）～27日（日） : コンベンションアーツセンター
日臨技中部圏支部医学検査学会（第54回） : コンベンションアーツセンター
グランシップ

10月

- 24日（土）平成27年度 第3回 臨床血液部門 : 静岡市立静岡病院
第2回 臨床一般部門 合同研修会

検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会を受講して

磐田市立総合病院 臨床検査技術科 久米 彩也香

講義内容は、患者心理を知るためのコミュニケーションの基本や、検査データを系統だて解析するポイント等、役立つ内容ばかりでした。ロールプレイもあり、より楽しく学ぶことが出来ました。経験や知識がなければ行うことが難しい内容がありましたが、好感・安心感を与えるポイントや心地よく感じる言葉遣い等、すぐに実践出来る事もあったので、さっそく日常業務に取り入れていきたいです。講習会で学んだことを活かし、医療現場の期待に応える検査説明・相談のできる技師を目指したいと思います。

聖隷三方原病院 臨床検査部 筒井 千絵

機械の自動化に伴い省力化が進む中で、今後検査技師に必要とされることは技術者として検査室にいることだけではなく、医療者としてチーム医療に参加していくことです。医師や看護師に比べ患者と関わる機会が少ない私たちにとって、今回のように患者心理や患者さんとの関わり方を考える機会は少なかつたと思います。R-CPCを通して実際に患者さんを前にした時に正しい知識をわかり易く伝えるための検査値判読スキル、医療者として患者さんの前に立つための心構えを習得できる環境作りに励んでいきたいと思います。

聖隷浜松病院 臨床検査部 HABIBZADEH VANEGHI MEHRDAD

今回検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会に参加することができ、大変有意義な時間を過ごす事ができました。今回の講習会では単に説明ができれば良い訳ではなく、患者の心理状態なども考慮して説明・相談を行う必要があることを学ぶことが出来ました。専門知識を学ぶことも大切ですが、患者の側にたつて説明のできる技師になれるよう頑張ろうと思える講習会でした。本当にありがとうございました。



静岡県内初の臨床検査技師養成学校が開講！！

静岡医療科学専門学校 鈴木 真紀子

平成 27 年 4 月、静岡県内初の臨床検査技師養成施設となる静岡医療科学専門学校臨床検査学科に、I 期生として 25 名が入学しました。静臨技会員の皆様には、今後臨地実習や静臨技のイベントなどで、お世話になる事と思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

I 期生が臨床検査技師という仕事を志したきっかけは、身内が癌を患い、それを発見する仕事が臨床検査技師だと知り、重要な役割だと感じたという学生、中学や高校のお仕事体験で病院の検査部を見学し、エコー検査で病気を発見している検査技師の姿を見て感銘を受けた学生、医療事務の仕事をしていた際に、何でも先ず「検査」という現状を見て、臨床検査が医療の中でも最も重要だと感じた学生など、きっかけは様々です。ただ、臨床検査技師の仕事の重要性を知り、責任は重いけれども人の役に立つこの仕事に就きたいと思い、本学科に入学してきたことは共通しています。医学の勉強の難しさ、覚えることの多さに辟易している学生もおりますが、今までの勉強は何のためにしているか分からなかったけれど、今は人の命を救うために学んでいるという事が実感でき、学ぶことが楽しいと言ってくれます。学内実習もすでに始まり、びっくりするほどのピペットさばきの不器用さを見て、教員も辟易しておりますが、熱い思いをもって、元気に頑張る個性豊かな I 期生との毎日は、私自身の向上心も高めてくれ、とても楽しいです。あらためて、臨床検査技師であることを誇りに思っております。皆様のもとで臨床検査技師としての第一歩を踏み出す日を、楽しみにして下さい。



研修会終了報告

事業名	平成27年度 検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会
開催日	平成27年6月27日(土)～6月28日(日)
会場	JA 静岡厚生連 遠州病院 3階 講堂
参加人数	56人
内容	<p>臨床検査技師が検査説明・相談を担う必要性を理解すること。患者さんの心理と関わり方について基本を学ぶことを目的に開催しました。今回は西部地区で開催し56名と多くの方々に参加していただきました。</p> <p>患者さんの心理や接遇、検査データの読み方など多岐にわたる内容でしたが、ロールプレイを通じて講義内容をしっかりと具現化できたと思います。</p> <p>受講者の意識改革と行動変容のきっかけとなる講習会でした。</p>
	

	平成27年度 第1回染色体遺伝子部門研修会
開催日	平成27年 6月27日(土)
会場	静岡赤十字病院 研修室
参加人数	43人
内容	<p>平成27年度の第1回染色体遺伝子部門研修会は、香川県立医療大学の上野先生をお招きし、遺伝子検査の基礎や一般的な検出法、および遺伝子検査に用いられる様々な検査手法についてご講演いただきました。</p> <p>今回の研修会では、40人を超える方々にご参加頂き、また、総計で3時間半ほどの研修会となり、非常に内容の濃い研修会になったかと思えます。臨床検査同学院などの団体が認定している、遺伝子分析科学認定士にも通じる内容で、同認定試験の受験を考慮しておられる皆様にも参考になる内容であったと感じました。</p>

研修会終了報告

事業名	平成 27 年度 第 1 回 生物化学分析部門研修会
開催日	平成 27 年 7 月 4 日 (土)
会 場	静岡赤十字病院 3 号館研修室
参加人数	77 人
内 容	<p>採血における注意点および採血合併症の知識習得とその対策を学ぶ事がテーマでした。積水メディカル的那須哲也先生から採血管の取り扱いにおける注意点と検査値に及ぼす影響について説明していただきました。杏林大学医学部教授の大西宏明先生からは採血合併症とその対策について講演していただきました。神経損傷、血管迷走神経反応 (VVR)、感染症について統計や解剖図を用いて一定の数が生じている現状を解かりやすく説明していただきました。</p> <p>検査の始まりは採血であると言われるように採血手技や採血管の取り扱いが正しくないと正確な検査値を報告する事が出来ないこと、プレイン管を含め全てにおいて採血直後の転倒混和の重要性、採血に関するガイドラインやマニュアルを整備し遵守する事の大切さを再確認出来たと思われます。今回の研修会には多くの方に参加いただき、大変有意義な研修会となりました。</p>



研修会終了報告

事業名	平成 27 年度 第 1 回微生物検査部門研修会	
開催日	平成 27 年 7 月 11 日 (土)	
会 場	静岡市立静岡病院 12 階講堂	
参加人数	44 人	
内 容	<p>今回は同定法の基礎と薬剤耐性菌についての講義を行った。同定の基礎については培地の写真を示し、各試験の判定方法と菌の解説を行った。自動分析機にて同定を行う場合が殆どであるので、基礎知識の確認が出来た。</p> <p>予定に入れていなかったが、プロモーションコードについて説明を行い、データの取り扱いについて確認をした。</p>	
		<p>薬剤耐性菌について神戸大学医学部附属病院検査部の中村竜也先生に御講演頂いた。耐性菌には様々な種類があるが、一見耐性に見えない結果果についても MIC 値を読み解く事で治療に役立つコメントが出来る事を学んだ。予定していた時間を超えて講義して頂き大変有意義であった。</p>

☆ 会員投稿募集 ☆

技師会では会員の皆様の原稿を募集しています。ジャンル等は問いません。

※採用された方には粗品を進呈いたします。

ご意見・ご要望・情報等もお待ちしております。

渉外広報部（編集責任者）鈴木雅人まで suzuki_masahito@sh.city.fuji.shizuoka.jp
会報 7 月号（抜粋カラー版）をホームページに掲載しましたので是非ご覧ください。

臨床検査関連研修会・講習会 (1)

平成 27 年 7 月 15 日までに申請を受理し承認された研修会等を、下表のとおりお知らせします。
各研修会の詳細については、別紙の【研修会案内】をご確認ください。

平成 27 年 (8) (敬称略)

<p>平成 27 年 9 月 12 日 (土) 13 : 30 ~ 20 : 00</p> <p>アクトシティ浜松 研修交流センター 6 階 62 研修室</p>	<p style="text-align: center;">静岡県寄生虫症研究会 第 20 回研究総会</p> <p>特別講演</p> <p>演者 :</p> <p>伊藤昌彦 (浜松医科大学感染症学講座ウイルス学・寄生虫学分野)</p> <p>瀬戸真太郎 (浜松医科大学感染症学講座感染制御学分野)</p> <p>石井 明 (浜松医科大学感染症学講座ウイルス学・寄生虫学分野)</p> <p>記野秀人 (浜松医科大学感染症学講座ウイルス学・寄生虫学分野)</p> <p>特別講演終了後に交流会 (呉竹荘) も予定しています</p> <p>受講料 : 参加費 1,000 円、交流会費 1,000 円</p> <p>参加ご希望の方は 8 月 28 日 (金) までに FAX・ハガキ ないしメールで事務局までご連絡下さい。 参加者は会員に限らせていただきます (参加当日の入会 可)。</p> <p>備考 : 本研究会に入会を希望される方は年会費 (1,000 円) を 静岡県寄生虫症研究会の郵便振替口座 (口座番号 : 00870-3-87097、加入者名 : 静岡県寄生虫症研究会) へ お振り込み下さい。</p>	<p>No. (150000972) 一般-専門-20 点</p> <p>浜松医科大学 感染症学講座内 石井 明</p> <p>〒431-3192 浜松市東区半田山 1-20-1 TEL 053-435-2337 FAX 053-435-2465</p> <p>E-mail aishih@hama-med.ac.jp</p>
---	---	--

臨床検査関連研修会・講習会 (2)

<p>平成 27 年 10 月 24 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>静岡市立静岡病院 12 階 講堂</p> <p>会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p>平成 27 年度 第 3 回 臨床血液部門 平成 27 年度 第 2 回 臨床一般部門 合同研修会</p> <p>テーマ： マラリアをマスターしよう！！</p> <p>1. 症例提示 (臨床症状・形態から確定診断・臨床経過まで) 富士市立中央病院 臨床検査科 岩崎 佐知子 技師 浜松医療センター 臨床検査科 渡邊 正博 技師</p> <p>2. 『 知っておくべきマラリアの知識 』 浜松医科大学 感染症学講座ウイルス学・寄生虫学分野 准教授 石井 明 先生</p> <p>今回は、昨年の静岡県医師会精度管理調査でも出題されたマラリアについての基礎知識を身に付けよう！と言う事で臨床血液・一般合同で企画しました。 県内でも、毎年何件か報告されている為、自施設にマラリア患者が来院した時に役立つ、観察のポイントや鑑別点について御講演していただきます。</p> <p>日当直のみ血液検査や一般検査をされる方々や、新しく血液・一般担当になられた方もぜひ御参加下さい。</p>	<p>No. (150013336) 一般血液-専門-20 点</p> <p>【問い合わせ先】 臨床血液部門</p> <p>独立行政法人 地域医療機能推進機構 三島総合病院 臨床検査部 大橋 勝春 TEL 055-975-5545</p>
---	--	--

研修会・講習会の詳細は、開催案内やホームページでご確認下さい